

令和2年度人事異動により、今年度4月1日に着任いたしました鈴木 薫と申します。

本来であれば新学期が始まったこの4月は、入学、進級の喜びに心を弾ませた子供達の声が、校舎に明るく響き渡っていたことでしょう。

しかし、現在、世界中に蔓延している新型コロナウイルス感染拡大の影響により、政治、経済は混乱し、私たちの日常生活そして子供達の学校生活にも暗い波は押し寄せ、4月の入学式は延期、始業式は中止という未だかつて誰も経験したことのないような非常事態となってしまいました。新年度の学校生活を待ち望んでいた子供達には大変申し分けなく思っております。

この危機的状況が収まるまでの約1ヶ月間、学校は臨時休業となりますが、何とぞ保護者の皆様のご理解をお願いいたします。

19世紀のフランスの哲学者ポール・ジャネーが遺した言葉に「子供の1年間は、大人の10年間」と言うものがあります。

ジャネーは「人生の中で感じる時間の心理的な長さは年齢の逆数に比例する。すなわち50歳の大人の10年間は5歳の子供にとっては1年間に相当する」と言っています。彼の言葉を借りれば、昨年度3月から新年度5月にかけての学校休業期間は、子供にとっては約2ヶ月間ですが、それは大人の20ヶ月間（1年8ヶ月間）に相当します。

この膨大な時間を、未来ある子供達が何もせず無意味に過ごしてしまえば、それは人生において大損失となってしまいます。

現在、南小学校をはじめ本市の全小中学校は、この長期に渡る臨時休業期間中、子供達に少しでも充実した時間を確保するために、本市教育委員会と連携してオンライン学習推進に着手しております。学校のICT環境や各家庭の受信環境等、不確定要素が多い中での実施となりますが、できない理由を見つけて何もしないより、今あるもので、子供達のために何ができるかを真剣に模索中です。

夜明けは必ずやってきます。雨は必ず上がります。

新型コロナウイルスもいつか必ず終息します。学校再開のその日に向けて、未来ある子供達のために誠心誠意、尽力いたします。